

令和7年度 学校評価書

延岡市立南小学校

4段階評価 (A:期待以上 B:ほぼ期待通り C:やや期待以下 D:大幅な改善を要する)

評価項目	評価指標	南小学校		学校運営協議会委員		改善策
		自己評価	○成果 ●課題	評価	コメント	
気づき 考える子の育成	<p>○学習規律の定着と「できる」まで教え、見届ける指導の充実</p> <p>○人権・同和教育や特別支援教育の充実、心の教育や命を大切にす教育の推進</p>	B	<p>○ノートとタブレット等のICT機器の効果的な活用を図り、「わかる・できる」を目指した授業実践に取り組んだ結果、学力調査においては、ほぼ全国平均に近い学力を身に付けさせることができた。</p> <p>○人権教育や心の教育、特別支援教育において学校の教育目標である「幸動」を意識させた目標を立て実践させたことで、自分で考えて行動する姿が少しずつ見られるようになってきた。</p> <p>●個別指導や特別支援教育など、一人一人の特性に応じた指導の工夫・改善をさらに進めていく。</p>	B	<p>・目標を掲げた授業の工夫や改善が見られ、学力が向上したことは、児童のやる気と自信につながっている。</p> <p>・校内に「幸動」を意識するような掲示があり、その目的に向かう教育が行われている。</p> <p>・ICT機器の効果的な活用が見られ、職員がていねいに指導しているのがうかがえる。</p> <p>・スマホ、タブレット等の実態(依存、リスク)への取り組みや声かけも同時に行っていたきたい。</p>	<p>◇ノート指導とタブレットでの考えの共有などより効果的な活用の仕方について工夫、改善を図る。</p> <p>◇スマホ、タブレットの利用の仕方について、参観日や学校保健委員会等を活用して保護者への啓発を図る。</p>
思いやりのある子の育成	<p>○あいさつやきまり、無言清掃などの基本的な生活習慣の確立</p> <p>○認め、ほめる指導による自己肯定感の育成と、いじめ・不登校等に対する組織的な対応の充実</p>	B	<p>○あいさつや会釈、返事、無言清掃など、年間を通じた指導や児童会からの働きかけにより、相手や場を意識した取組ができるようになってきた。</p> <p>○日常の声かけや観察、教育相談の充実及び関係機関との連携並びにケース会議等での協議を重ねたことで、一人一人の心理的安全性の保障に努めることができた。</p> <p>●あいさつの継続化、交通安全や公園の使い方などのきまりについて繰り返し指導を行い、児童のみならず、保護者へも啓発を図っていく。</p>	B	<p>・以前よりも自分から元気にあいさつをしてくれる児童が増えたと感じる。</p> <p>・こちらからあいさつをしても返してもらえない児童もいるので、顔を見て相手とあいさつができるようになってほしい。</p> <p>・登校しぶりや不登校、特性のある児童一人一人へ寄り添う姿を見る場面があった。</p> <p>・きめ細かな指導や支援など必要に応じて会議をもって対応している点がすばらしい。</p>	<p>◇基本的な生活習慣と月目標の指導の具現化を図り、意識した取組を行う。</p> <p>◇児童会のあいさつ運動や地域でのあいさつの励行を継続していく。</p> <p>◇関係機関(SC、SSW、発達支援センター、オンライン教室、医師等)との連携を強化し、一人一人の支援にあたる。</p>
命を大切にする子の育成	<p>○学校施設の安全管理及び安全指導や訓練の徹底</p> <p>○保健指導の充実及び体力向上と食に関する指導の充実</p>	B	<p>○体育学習の充実と遊びの場の工夫、感染症や熱中症等への対策を行ったことで、健康で安全な学校生活を送ることができた。</p> <p>○避難訓練の充実と安全点検の実施並びに危険箇所の早期修繕に努めたことで、危機意識をもった行動が見られるようになってきた。</p> <p>●運動できる場の工夫や時間の設定、給食指導の充実をさらに図っていくことで体力向上と健康の保持増進に努めていく。</p>	B	<p>・学校施設の安全管理や対策が十分に行われていて、年間を通じて快適な環境の中で、のびのびと学校生活が送れていると感じる。</p> <p>・給食の残菜、食べ物の好き嫌いなど食の大切さを引き続き指導してほしい。</p> <p>・下校中に事故につながりかねない行為や自転車の危険な走行を見かけるときがあったので、引き続き学校全体で安全指導についても取り組んでほしい。また、保護者への啓発もお願いしたい。</p>	<p>◇給食での偏食、少食への指導や学活、家庭科の授業での栄養指導の充実を努める。</p> <p>◇交通安全教室の実施、下校時の立番指導、安全パトロール隊との連携を図る。</p>
学校・家庭・地域で目標を共有し、地域とともにある学校づくりの推進	<p>○学校運営協議会を中心とした保護者・地域との連携推進</p> <p>○学校への協力者との連携、地域素材・人材の活用及びキャリア教育等の推進</p>	B	<p>○学校運営協議会では、昨年度に続き、地域の方へたすきを配付し、地域とのつながりを強化することに取り組んだ。</p> <p>○青パト隊や民生委員児童委員との情報共有並びに地域素材や人材活用の充実を図ったことでキャリア教育やふるさと教育の推進に努めることができた。</p> <p>●児童を中心に据えた家庭・地域・学校の連携を進め、コミュニティ・スクールの充実を図る必要がある。</p>	B	<p>・本会議で作成した「のほり旗」「たすき」をいいに活用し、あいさつをはじめとするコミュニティカが育ってほしい。</p> <p>・学校だけでなく、地域での米作りの体験を通して、生き生きとした子どもたちの姿を見ることができた。</p> <p>・地域にある人材や素材を生かして児童と地域のつながりを増やしていきたい。</p> <p>・災害時に備えて、人と人が支え合えるような地域にできるように考え方の見直しも必要だと思う。</p>	<p>◇児童が主体となってめざす学校像を考え、学校運営協議会の場で提案、計画、実践、評価を行っていくシステムを構築していく。</p> <p>◇開かれた教育課程をめざし、家庭と地域がお互いに支え合えるような活動を組んでいく。</p>